

小水力発電を活用した農産物加工品の開発

＜概要＞

- 事業実施主体：石徹白^{いとしろ}地区地域づくり協議会
(岐阜県郡上市^{ぐじょうし})
- 発電設備：小水力発電
発電出力 2.2kW（上掛け型）
0.8kW（らせん型）
- 建設費：900万円
- 運転開始時期：平成20年1月

＜特徴＞

- 岐阜県郡上市の石徹白地区は、地域の高齢化、過疎化による人口減少が深刻化したことから、地域活性化を図るため、地元の有志が設立したNPOにより小水力発電を導入。
- 休眠していた農産物加工施設に、小水力発電による電力を供給し、地元特産品である糖度の高いトウモロコシの規格外品を乾燥・粉末にしてケーキ等の新商品を開発・販売する6次産業化の取組を地元女性グループが実施。
- 小水力発電の導入により、マスコミ等、全国から多数の視察があり、石徹白の知名度の向上に大きく貢献。
- 平成26年4月に農業水利施設の維持管理を行う農協を設立。同農協において、小水力発電設備（最大出力125kW）を新設し（平成28年6月運転開始）、その売電収入を農業研修・共同利用施設の設置・農業経営など、農村振興のために活用する予定。



上掛け型水車



らせん型水車

農産物加工品→

